







100年目のデンマーク

「私たちがみつけた幸福の灯り」



北九州市

なかはら あきこ
中原 亜希子

デンマークで出逢った輝く女性達は“自分”というものをしっかり持ち堂々と生きていたのが印象的でした。デンマークの女性達が歩んできた100年の歴史から学んだことは、諦めず少しずつでも前に進む、そして「繋いでいく」ことです。歴史とはその“今”の積み重ねであることをひしひしと感ずることができた時間でした。

福岡県の各地から参加した私たちの役割はそれぞれの地域に思いを発信し、実行していくことです。

生涯に灯りをともしていきましょう！



福岡市

にゅう ひでこ
丹生 秀子

35年前日本も女子差別撤廃条約に署名したコペンハーゲンで、デンマークの女性リーダーたちからジェンダー平等の取り組みについて直接話が伺えて幸せでした。「ひとり親でも、子育てと大学進学の間立は可能です！」子育てと学問に基本的にお金がかからず、一人ひとりの人権が尊重され保障されている国でした。女性運動の継承や女性団体のネットワークがしっかりできて、世界を向いて行動し、発信していることに感動しました。共通する課題も見出し、今は、翼の研修は戻ってからが本番よと教えてくれた先輩諸氏の言葉を実感しているところです。



福岡市

がんせ あきこ
雁瀬 暁子

『助けてほしい』と言えるのも女性。『助けますよ』と言えるのも女性。男性はなかなか言えない」(KVINFO)。「女性は、周りの皆が優秀だと認める能力があっても本人ができないと思っている。リーダーを目指す女性の9割はその能力があるが、男性は逆に1割くらいしかない」(TDC)など、国は違えど男女の特性(?)はそんなに変わらないのだなというのが大きな発見でした。国民性を理由に変革できないというのは詭弁だと自信を持ちました。